

（令和元年 12 月試験研究業務月報）

試験研究課題：中山間地域の稲作を守り支える集落営農組織におけるスマート農業技術の実証（令和元年度「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト事業」）

情 報

スマート農業の現地実証に関する成績検討会

12 月 13 日に当センターで、農林水産省の委託事業に取り組む「京都亀岡中山間水稻生産支援スマート農業実証コンソーシアム※」の第三回推進会議（成績検討会）を開催し、実証農家やコンソーシアムメンバー等 36 名が参加しました。

これまでの実証活動の結果、田植えや水管理作業で作業時間の短縮が図られることを報告しました。今年度の活動結果を踏まえ、次年度も現地に導入する機械等の効果の検証、実演会などの広報活動を行い、府内の稲作現場への早期の普及を目指します。

※ 京都亀岡中山間水稻生産支援スマート農業実証コンソーシアム

京都府内の中山間地の稲作において、耕耘から収穫までの一貫作業を自動運転トラクタやドローンなどスマート農業技術を用いて省力化、高収量・高品質化を図ることを目的に結成した協議会（民間企業 4 社、大学 1、関係機関（府、市、JA など）8 組織で構成）。農林水産技術センターが代表機関を務めている。



実証活動成果について討議

農 林 セ ン タ ー